

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 9月 2日 更新

事務事業名		放課後学童クラブ室整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	二瀬 義継
	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2312
予算科目		会計一般	款3	項2	目4	事業連番11345	法令根拠	児童福祉法合志市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	71人以上を超える大規模学童クラブの分割等の施設確保及び老朽化や手狭等、保育環境の改善のため学童クラブ室の整備を行う。今後も、大規模分割や施設の老朽化、手狭等、それぞれの学童クラブの状況を見ながら検討する必要がある。 国は71人以上のクラブへの補助について、廃止を含め検討することとしているため、学童クラブの適正な運営や施設の保育環境改善のため、大規模化にある施設の分割を図り、児童の安全安心を確保する。 平成24年度は、新築工事予定なし 住宅開発等で大規模化している学童クラブが2ヶ所あり、平成25年度には26年度に西合志東小、27年度に合志南小の第3学童建設を県に要望していたが、この2校の入所希望が大きく伸びてきており、早急の対応が必要な状況となったため、平成25年7月には前年度計画を変更し、2施設とも平成26年度に実施できるよう計画書を提出している。
【業務の流れ】	本年度無し
【主な予算費目】	本年度無し
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	本年11月までに西合志東小学校及び合志南小学校から第3学童施設建設の要望が各保護者会長から提出されている。しかし、学校敷地内に余裕が無く、用地の確保の苦慮している。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動) (DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
本年度事業無し	県への要望は26年以降となっているが、現在の西合志東小及び合志南小の学童クラブ入所希望が多く、25年度は具体的な事業展開を定める必要がある。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア:小学校の敷地内にあるクラブ室	箇所	本年度事業無し
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
学童クラブ室	→ ア:施設の整備が必要な学童クラブ室	箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
学童クラブ室を整備することによって、安心安全に保育できるようにする。	→ ア:整備した学童クラブ室	箇所
	→ イ:整備した学童クラブ室に入所した児童数	人
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
大規模化による分割及び待機児童解消に伴う施設整備であるため、整備した施設に入所した児童数として設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移	単位	22年度	23年度	24年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	箇所	7	8	9	9	10	10	11	11
②対象指標	箇所	3	1	0	0	1	1	1	0
③成果指標	箇所	2	1	0	0	1	1	0	0
	人	57	39	40	39	0	0	0	0
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	13,930	14,336			28,672		
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	20,552	13,700			71,328		
	(A)事業費計	千円	34,482	28,036	0	0	0	100,000	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	2	0	1	0	0	0
延べ業務時間	時間	480	450	0	20	0	0	0	
(B)人件費計	千円	1,977	1,817	0	81	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	36,459	29,853	0	81	0	100,000	0	

事務事業名	放課後学童クラブ室整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 本年度、事業無し	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 住宅開発が進む2ヶ所の具体的な事業展開を定めることが必要である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 本年度事業無し
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 本年度事業無し
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本年度事業無し
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本年度事業無し
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 本年度事業無し
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 本年度事業無し

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

本年度事業無し

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					